大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2023年 第47週（11月20日～11月26日）

今週のコメント

～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 今後の動向に注意」

第47週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,660例であり、前週比3.2%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.05、4.20、3.02、0.61、0.44である。

感染性胃腸炎は前週比2%増の994例で、南河内7.31、大阪市南部6.28、中河内6.00、三島5.88、大阪市北部5.43であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は3%減の828例で、大阪市西部8.70、大阪市南部5.89、大阪市東部5.07である。大阪市西部は警報レベルの目安８を超えた。

咽頭結膜熱は7%減の595例で、北河内4.64、中河内3.85、南河内3.81であった。

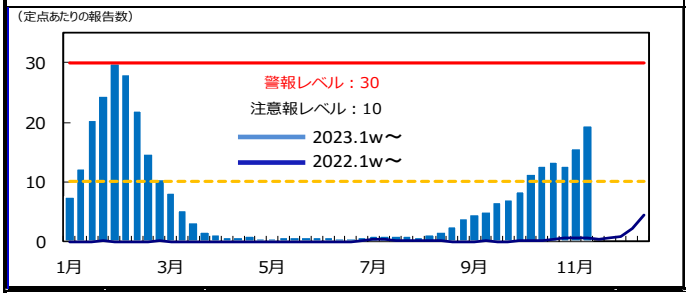
手足口病は2%減の120例で、三島1.38、南河内1.00、大阪市西部0.90である。

流行性角結膜炎は8%減の23例で、豊能・南河内1.00、北河内0.67であった。

インフルエンザは25%増の5,958例で、定点あたり報告数は19.47である。大阪市西部27.87、南河内26.42、北河内25.46、堺市22.34、中河内20.55であった。9月以降、大阪府内で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3、AH1pdmである。

新型コロナウイルス感染症は15%増の493例で、定点あたり報告数は1.61であった。堺市2.86、大阪市西部2.40、泉州1.85、南河内1.83、大阪市北部1.55である。第46週から2週続けて増加している。

インフルエンザ



Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

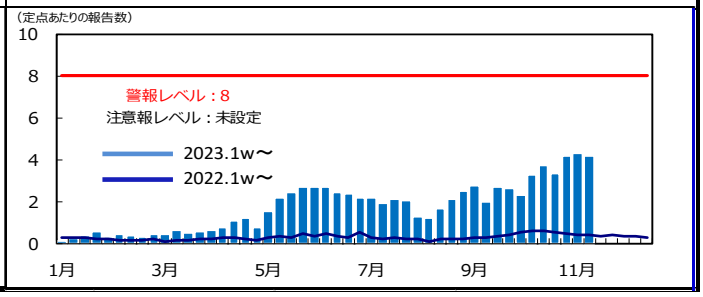


表１． 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2023年 第47週11月20日～11月26日）

第47週の順位	第46週の順位	感染症	2023年第47週の定点あたり報告数	前週比増減	2022年第47週の定点あたり報告数	2023年第47週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.05	2%増	2.99	１歳_14%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.20	3%減	0.45	10-14歳_14%
3	3	咽頭結膜熱	3.02	7%減	0.09	４歳_16%
4	4	手足口病	0.61	2%減	0.87	１歳_45%
5	5	流行性角結膜炎	0.44	8%減	0.19	20歳以上_61%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	19.47	25%増	0.49	10-14歳_25%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	1.61	15%増	-	50-59歳_13%

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザは、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第47週のコメント

～侵襲性肺炎球菌感染症～　大阪府では、コロナ禍前の2019年までは毎年250例以上の報告がありました

全数把握感染症

侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症は、感染症法上、肺炎球菌（*Streptococcus pneumoniae*）による感染症のうち、この菌が髄液又は血液等の無菌部位から検出された感染症のことをいう。髄膜炎、菌血症を伴う肺炎、敗血症などが特に問題とされており、小児および高齢者を中心に患者報告がある。抗菌薬が有効であるが、近年薬剤耐性菌も多く報告されている。侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチンの接種が有効である。小児および高齢者への定期接種が実施されており、また、2歳以上で肺炎球菌による重症化の危険性が高い人への接種が重要である。

肺炎球菌感染症（高齢者）（厚生労働省）
侵襲性肺炎球菌感染症とは（国立感染症研究所）

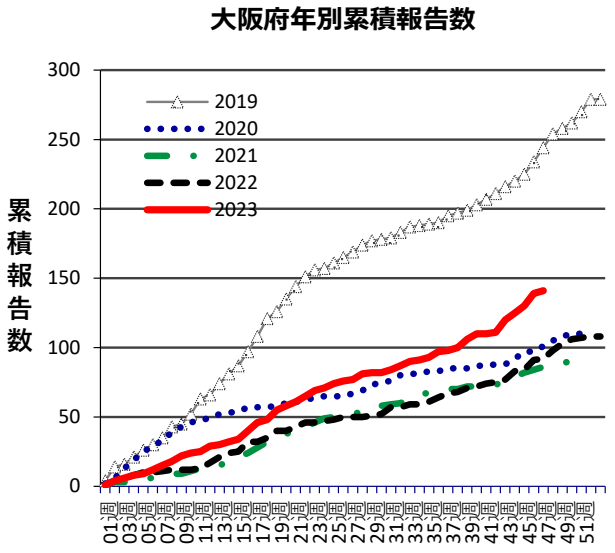


表２．大阪府全数報告数（2023年 第47週11月20日～11月26日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**2**								2	197
４類感染症	**レジオネラ症（肺炎型）**	**2**	1		1						126
５類感染症	**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**	**2**							1	1	158
	後天性免疫不全症候群	**2**						1		1	65
	ジアルジア症	**1**								1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	**2**			1					1	141
	梅毒	**9**		1		1				7	1796
	百日咳	**1**		1							41
結核 （2023年9月分）	**結核　新登録患者数：73名**　（内　肺･喀痰塗抹陽性　22名） （府内累積報告数　822名、内　肺･喀痰塗抹陽性　283名）										

（2023年11月28日　集計分）